

科目名	情報数学基礎 Computer Mathematics			担当教員	村上 幸一		
学 年	2年	学 期	前期	履修条件	必修	単位数	1
分 野	専門	授業形式	講義・演習	科目番号	15132006	単位区分	履修単位
学習目標	計算機やデジタル回路技術分野の基礎知識である、基数変換、補数表示、ブール代数、カルノー図などを理解し利用することができる。						
進め方	教科書に沿った講義に加え、プリント配布により重要事項の説明・演習を行う。						
学習内容	学習項目(時間数)			学習到達目標			
	1. 情報分野における基礎知識(2) (1) 全体の授業計画とガイダンス (2) 計算機技術が社会に与える影響			<ul style="list-style-type: none"> ・基数変換ができる。 ・任意の基数で表現された数値の加減算ができる。 ・オーバーフローの判断を含めた2の補数の加減算ができる。 			
	[前期中間試験](2)						
	試験返却・解説(1)						
	3. 論理数学の基礎(3) (1) 論理命題の真理値表表現 (2) 論理パズルを対象にした推論演習			<ul style="list-style-type: none"> ・与えられた前提条件のもとで、命題論理を真理値表で記述し、論理問題を解くことができる。 			
	4. 論理演算(6) (1) ベン図による集合表現 (2) ブール代数の基本則とそれを使った演算 (3) 論理関数の真理値表表現、加法標準形 (4) 論理演算演習			<ul style="list-style-type: none"> ・論理関数の表す集合領域をベン図で表せる。 ・論理関数をブール代数の基本則を用いて変形でき、与えられた証明問題を解くことができる。 ・論理関数の真理値表を記述することができる。 			
	5. 論理関数の簡単化(4) (1) カルノー図による簡単化 (2) ドントケア項の取り扱い (3) その他の簡単化手法 (4) 情報数学総合演習			<ul style="list-style-type: none"> ・カルノー図を用いて論理関数を簡単化することができる。 ・カルノー図以外の簡単化手法について名称と内容の概要を説明することができる。 			
前期末試験			(B-1)				
試験返却(1)							
評価方法	2回の定期試験の平均点で、総合評価を行う。						
履修要件	特になし						
関連科目	[情報数学基礎] → 論理回路 → 計算機ハードウェア						
教 材	伊原充博、他 著「デジタル回路」(コロナ社)						
備 考	情報数学では、特に2進数の補数に関する理論や計算法をよく知ること、論理思考能力を高めること、および論理関数の変形や簡単化ができることを目指すことから、特にこれらに関する部分は演習を多くし、補足的なプリント配布も行う。						